

平成 22 年度第 2 回普及に移す農業技術・試行技術（技術項目及び要約のみ）

番号	技術項目 要 約	担当場・部
1	<p>適応標高において「ゆめしなの」は 60 株/坪、「あきたこまち」、「コシヒカリ」、「ひとごち」は 50 株/坪までの疎植栽培が可能である</p> <p>[要約] 標高 1050m 地帯までの「ゆめしなの」は 60 株/坪、標高 850m 地帯までの「あきたこまち」、標高 700m 地帯までの「ひとごち」および「コシヒカリ」は 50 株/坪まで栽植密度を減らしても慣行と同等の収量および品質が得られる。</p>	農業技術課、 農試作物部
2	<p>早期入水と移植時期が雑草性赤米の出芽に及ぼす影響</p> <p>[要約] 雑草性赤米の水田ほ場埋土種子は湛水時期が早いほど出芽率は低下し、また、湛水期間が長いほど死滅効果は高まる。</p>	農試作物部・ 育種部
3	<p>雑草性赤米の代かきによる損傷および埋没効果</p> <p>[要約] 地中で鞘葉が伸長した雑草性赤米の種子は、鞘葉長が長いほど、代かきの攪拌にともなう損傷による防除効果大きい。また、地上で緑化生育した水稻個体は浅水状態で代かきを行うことで、埋没により無代かき対比 5%程度にまで苗立ちが減少する。</p>	農試作物部・ 育種部
4	<p>雑草性赤米の耕起前非選択性除草剤処理による防除効果</p> <p>[要約] 耕起前の水田ほ場に発生した雑草性赤米の出芽揃い以降に非選択性除草剤を散布すると効果的な防除が可能である。</p>	農試作物部
5	<p>水稻「信交 526 号」は短稈・多収で食味が優れる有望系統である</p> <p>[要約] 水稻「信交 526 号」は、中生の晩熟期で、短稈で倒伏に強く、食味が優れる。「キヌヒカリ」や「コシヒカリ」より多収で、いもち病にも強い。</p>	農試育種部・ 作物部、 農業技術課
6	<p>だいで「東山黒 215 号」は極大粒・高品質で耐倒伏性に優れる黒大豆として有望である</p> <p>[要約] だいで「東山黒 215 号」は、極大粒・高品質の黒大豆系統である。耐倒伏性に優れダイズモザイク病抵抗性を有し、栽培特性が優れる。粒の外観品質に優れ、蛋白質含有率が高いので、煮豆および豆腐原料に利用できる。</p>	野花試畑作育種部
7	<p>夏秋どりいちご「サマーエンジェル」の収穫適期と収穫後の果実管理方法（県内限定）</p>	野花試野菜部、 南信試栽培部
8	<p>短節間性ミニトマト「房美人（桔梗交 43 号）」における仕立て法と株間が収量に及ぼす影響</p> <p>[要約] 短節間性ミニトマト「房美人」は、主枝 1 本仕立て栽培では、一般的なミニトマト品種よりも狭い株間 30~40cm が適する。また、主枝果房直下から発生する腋芽にも着果させることで、収穫果房数が増加する。</p>	野花試野菜部
9	<p>リンドウ「農原 2 号」は浅青紫色で、花卉先端が反転咲きする大輪の晩生 F 1 切り花品種として有望である（県内限定）</p>	野花試花き部・ 育種部、 農試原村試験地
10	<p>キク栽培における LED「レピガード®」の利用技術</p> <p>[要約] LED「レピガード®」は、2~4lx 程度の終夜照明を行うことにより、夏秋ギクの開花にほとんど影響を与えずに、オオタバコガ等のヤガ科害虫による被害を低減することができる。また、電源として太陽電池を利用することもできる。</p>	野花試花き部・ 環境部、 南信試栽培部

番号	技術項目 要約	担当場・部
11	<p>きのこ栽培用「蛍光灯型 LED 照明器具」はブナシメジ生育期の光照射に利用可能である</p> <p>[要約] きのこ栽培用「蛍光灯型 LED 照明器具」(型式:k-100、(株)佐野製作所)は、管がポリカーボネート製で破損しにくく、防水や防サビ対策が施された省電力で長寿命な、ブナシメジ生育期の光照射に使用可能な照明器具である。</p>	野花試北信支場 菌茸部
12	<p>遊休荒廃農地を利用した放牧草地における蹄耕法による牧草追播技術</p> <p>[要約] 遊休荒廃農地を利用した放牧草地における蹄耕法による牧草の追播では、適正な放牧圧の下で、導入草種の選択、播種の時期、土壌改良資材の施用が成功の鍵となる。</p>	畜試飼料環境部、 農業技術課
13	<p>水田及び畑耕作放棄地におけるスーダン型ソルガムの散播・密植栽培</p> <p>[要約] 水田及び畑耕作放棄地では、スーダン型ソルガムの散播・密植栽培が可能である。本栽培では、1番草茎数を150本/m²以上、この場合の播種量は10aあたり6kgとすることで雑草量を抑制できる。</p>	畜試飼料環境部
14	<p>0.5M 塩酸抽出による家畜ふん堆肥の簡易分析法</p> <p>[要約] 家畜ふんたい肥を0.5M塩酸で抽出することにより、堆肥中のりん酸・カリ成分の分析が可能で、抽出液中のりん酸・カリおよび塩酸抽出無機態窒素は、小型反射式光度計で簡易に分析することができる。</p>	農試環境部、 野花試環境部
15	<p>りんご2年生わい性台木苗木(カッツリー)育苗における窒素施肥量は10kg/10a以下でよい</p> <p>[要約] りんご2年生わい性台木苗木(カッツリー)育苗において、フェザーの発生数は窒素10kg/10a施用で最も多かった。しかし、窒素無施肥でも十分な生育量となり、育成目標を満たすカッツリーが得られた。また、育苗時の窒素施肥量が多いと、本圃定植後の生育量は少なかった。</p>	果試環境部
16	<p>可給態りん酸量が50mg/100g以上であれば夏まきハクサイのりん酸施肥を全量削減できる</p> <p>[要約] 夏まきハクサイの栽培圃場において、可給態りん酸量が50mg/100g以上であれば、りん酸肥料を全く施用しなくても、基準量を施用した場合と同等の収量が得られる。</p>	野花試環境部
17	<p>0.5M 塩酸抽出法により家畜ふん堆肥の短期的な窒素肥効を評価できる</p> <p>[要約] 0.5M塩酸により堆肥から抽出された無機態窒素を測定することにより、家畜ふん堆肥に含まれる速効性窒素の肥効を評価し、施肥設計に反映することができる。</p>	野花試環境部、 農試環境部

※普及に移す農業技術のうち試行技術は、農業関係試験場で育成、開発又は実証され、農業発展に寄与する技術及び情報のうち普及技術とするにはまだ未解決の部分があつて適当でないものの、おおむね生産技術の向上に役立ち、試行する価値があるものです。

毎年、10月と2月に普及技術検討会で審査され、公表されます。試行技術の詳細については、お近くの農業改良普及センターへお問い合わせください。

農業改良普及センター一覧

普及センター名	所在地	電話番号
佐久農業改良普及センター	佐久市大字跡部 65-1 佐久合同庁舎内	0267-63-3146
上小農業改良普及センター	上田市材木町 1-2-6 上田合同庁舎内	0268-25-7157
諏訪農業改良普及センター	諏訪市川上 1-1644-10 諏訪合同庁舎内	0266-57-2932
上伊那農業改良普及センター	伊那市大字伊那 3497 伊那合同庁舎内	0265-76-6842
下伊那農業改良普及センター	飯田市追手町 2-678 飯田合同庁舎内	0265-53-0436
木曾農業改良普及センター	木曾郡木曾町福島 2757-1 木曾合同庁舎内	0264-25-2230
松本農業改良普及センター	松本市大字島立 1020 松本合同庁舎内	0263-40-1947
北安曇農業改良普及センター	大町市大字大町 1058-2 大町合同庁舎内	0261-23-6543
長野農業改良普及センター	長野市大字南長野南県町 686-1 長野合同庁舎内	026-234-9534
北信農業改良普及センター	中野市大字壁田 955 北信合同庁舎内	0269-23-0221